

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-3-3			事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入
担当	交通局高速電車部車両課 修理 修 TEL 896 - 2751(2582)					
全体計画						
事業内容	既存線営業における安全性と信頼性を確保するため、老朽化の著しい車両の更新を行う。更新に際しては、バリアフリーの観点から低床車両を導入し、利用者サービスの向上を図る。			<年度別の事業内容>		
				【平成22年度】低床車両を1両導入		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(決算)		
	/			/		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)			平成22年度事業内容(予算)		
	/					

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-3			事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
低床車両の数	-	-	-	-	1両	1両	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 (該当なし)							
企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)							
評価(成果)				課題			
(財)鉄道技術総合研究所と川崎重工業(株)が開発した新型低床式路面電車の走行試験のためにフィールドを提供(H19.11~H20.3)し、冬季運行の安全性などに関するデータを収集した。				路面電車の安全運行のために、老朽車両については適切な更新を行う必要がある。札幌市のような積雪寒冷地では世界的にも低床車両の導入事例がないため、冬季運行の安全性や信頼性に関するデータを引き続き収集し、札幌に適した低床車両を検討する必要がある。			
今後の事業の予定・方向							
低床車両導入の延期 <理由> 車両更新に当たり、当初、「LRTシステム整備事業費補助金」(補助率:1/4)の活用を考えていたところであるが、国の補助予算枠が「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金」(補助率:1/3)に大きく移行してしまった。 LRTシステム整備費補助は、今後も一層先細りとなること及び新たな補助制度の方が有利であることなどから、新たな補助制度を活用すべきであるとの判断に至った。 当該補助は法定協議会を設置し、「地域公共交通連携計画」を策定したうえで、最大3年間の「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」をとりまとめ、国の認定を受ける必要がある。 また、計画の策定は「都市交通マスタープラン」に基づく必要があることから、平成22年度の車両更新は延期(目標:H24年度)とする予定である。							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-3		事業名	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入					
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	-	-	-	-	-				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	0	0	0	-	0				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
実績	事業費	0	0	-	-	0				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0			0				
	市の債	0	0			0				
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)								-
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										